

2012年2月18日(土)

13:00~17:00 (無料・申込み不要)

京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホール I・II

1. 13:00~15:30 多声対話シンポジウム

「質的研究の来し方と未来 ―ナラティヴを巡って―」

企画 やまだようこ (京都大学)

司会 田垣正晋 (大阪府立大学)

荘島幸子 ((独) 国立精神・神経医療研究センター)

話題提供 麻生 武 (奈良女子大学)

「出来事、記憶、ナラティヴ」

能智正博 (東京大学)

「対話としてのナラティヴの分析:質的研究の教育の発展に向けて」

斎藤清二 (富山大学)

「ミクロとマクロを結ぶナラティヴ:発達障害支援をフィールドに」

徳田治子 (高千穂大学)

「証言としてのナラティヴ:語りを受け取り、伝えるということ」 **矢守克也**(京都大学)

「アクションリサーチとしての質的研究:災害と言葉」

主催:科学研究費基盤A「多文化ナラティヴ・フィールドワークによる臨床支援と 対話教育法の開発」

2. 16:00~17:00 やまだようこ教授 記念講演 (最終講義)

「人生心理学 ―イメージ画と語り―」

主催:やまだようこ先生御退官記念事業会

問い合わせ先:やまだようこ先生御退官記念事業会

email: kyoiku.y.2012@gmail.com

